

リハビリ通信 (第61号)

編集・発行：長野県立総合リハビリテーションセンター「支援部」

所在地：〒381-8577 長野県長野市大字下駒沢618-1

TEL・FAX：026-296-3953（代表）

E-mail：reha-shien@pref.nagano.lg.jp

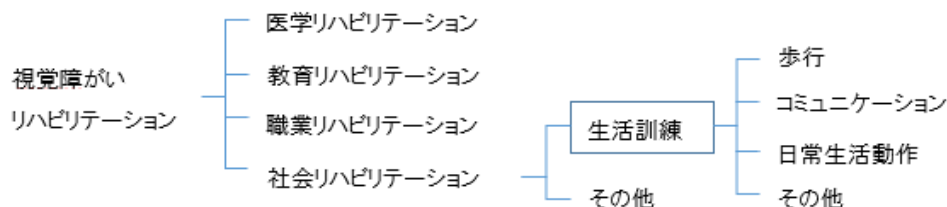
ホームページ：<https://www.nagano-reha.pref.nagano.lg.jp/shien/gaiyo>

視覚障がいの方へ歩行訓練を行っています

生活支援員 清野

支援部 生活支援課では、視覚障がい者リハビリテーションを実施しています。リハビリテーションは、医学・教育・職業・社会リハビリテーションの4つに大別されます。

当課では、その中の、社会リハビリテーションにおける生活訓練を実施しています。



生活訓練は、歩行訓練、コミュニケーション訓練、日常生活動作訓練、に大きく分類されます。

歩行訓練…手引き歩行、白杖歩行など

コミュニケーション訓練…点字、パソコン（スマートフォン）、すみ字など

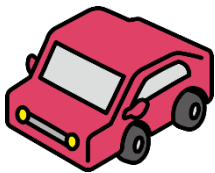
日常生活動作訓練…身辺管理（食事動作、トイレの使い方、整容、金銭管理など）、家事動作（調理、洗濯、掃除など）

その他…レクリエーションなど

当課では、「日本ライトハウス」において『視覚障害生活訓練等指導者養成課程』を受講した生活支援員が、視覚障がい者の生活訓練を担当しています。指導者養成課程は、カリキュラムが歩行訓練とその他日常動作訓練に分かれています。現在は、歩行訓練のカリキュラムを修了した1名で視覚訓練を担当しています。そのため、日常生活動作訓練が十分に提供できていない状況となっています。近くにある長野盲学校から情報や協力を仰ぎ、できる範囲でご相談に対応させていただきます。

視覚障がい者の歩行訓練では、白杖の操作や屋内移動方法などの技術を繰り返し習得して単独で歩行できることを目指していきます。白杖操作などの技術を習得したとしても、道路の右側を歩くか左側を歩くかによって、視覚障がい者にとっての歩行環境は変わります。ですので、最終的には、訓練対象者のお住いの地域に出向いて、自宅周辺の道路環境に沿った訓練や、目的地までの経路を考慮した訓練をすることが望ましいと考えて実施しています。





社会見学（ドライブ）をはじめました！

生活支援員 福澤

令和2年から新型コロナウイルスが世界的にまん延し、今までの“当たり前の生活”を送ることが難しくなりました。

当所でも集団生活を送るにあたって、外泊・外出・面会を一部制限させていただいています。この苦しい状況下で少しでも利用者様にリフレッシュしていただき、日々の訓練に臨んでいただければと考えています。そこで職員が企画した、社会見学（ドライブ）を月に1度行なっています。感染症の予防対策を徹底しつつ、基本的には生活支援員2名、参加者2名で安全に実施できるよう努めています。（現在は中止しております。）

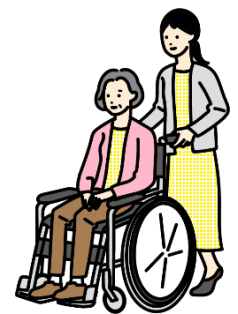
目的地は参加者と相談して決めています。これまでは辰巳公園、城山動物園、長野県立美術館に行き、絵画鑑賞や散歩等を実施しました。入所以前から余暇等の外出の機会が少ない方が多く、ドライブ中はリラックスした表情で楽しまれている方が多い印象です。普段の真剣に訓練に励む姿とは異なり、口数が増えた方もいらっしゃいました。ほかに「楽しかった。」「また連れて行って。」と声をいただき、この企画を始めて良かったと思います。

他にも、噴き出し花火や映画鑑賞会などのレクリエーションを企画、実施しています。今後も利用者様のニーズに応じて試行錯誤しながら利用者様に楽しんでいただけるよう努めてまいります。

＜長野県立美術館での1枚＞



＜城山動物園での1枚＞



編集後記 （生活支援員 瀧澤）

お読みいただき、ありがとうございました。リハビリ通信は今回で61号目となります。年に2号のペースで発行しているため創刊は1991（平成3）年と考えられます。

長野県ではデジタル環境の整備を現在進めており、当所でも新たなWebページの運営（URLは表に記載）、その中のブログの更新、Youtubeの動画配信など（<https://www.youtube.com/channel/UCp3Lt73rOpvsBr2Uyubh0QQ/featured>）の新たな媒体を用いた広報を行なっています。

今後とも長野県立総合リハビリテーションセンター支援部をよろしくお願いいたします。